

令和4年度 第2回  
北栄町社会教育委員会・公民館運営審議会 会議録

開催期日	令和4年11月29日(火)				
開催場所	北栄町大栄農村環境改善センター 大会議室				
開会時刻	午後1時30分				
出席委員 (10人中5人)	安田 千秋	坂田 和靖	三村 章雄	清水 武	玉木 純一
欠席委員(5人)	笠見 隆志	河原 裕司	山下 みさと	津島 望	南場 兄一
事務局出席者	前田課長	福庭室長	松尾室長	渡辺館長	
	田中館長	中江館長	永田理事長	荒川事務局長	
書記	谷口				
1 開会	事務局前田課長の司会進行で開会。				
2 あいさつ	<p>◆三村委員長によるあいさつ お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。 コロナ禍の中、学校関係者の方が4名欠席となっており、感染が拡大してきている状況ではありますが、本日は今年度事業の中間報告と来年度に向けての活動計画について検討したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>				
3 定足数の確認	委員10名中5人が出席。半数以上の出席者があることを確認し、北栄町中央公民館条例施行規則第4条により会議が成立することを報告。				
4 議事録署名委員	指名委員は、安田千秋委員が議事録署名委員となる。				
5 協議・報告事項	(1)研修報告 鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会(P.1)				
玉木副委員長	<p>午前の研修では対話をし、語り合うということ、学び続ける事が大切だと感じました。そして、自らやってみる、さらに振り返ってやってみるということもとても重要だと感じました。 午後の事例発表では地域の高齢者と子どもたちの交流、小中高生と地域がつながるような行事、あるいは対話によるつながりづくり、世代間交流など行っているということでした。 この研修を通して事業を企画して実施していくことが委員の役割だと実感しました。対話をしつなげていくこと、世代間でつなげていくこと、自らが企画して実施していくことが印象に残っています。 私事ではありますが、3期5年目になり、振り返ってみて生涯学習課の事業計画、事業報告と研修会に参加することが主な活動で、委員の間で語り合ったり、活動したりということは無いなと思いました。 社会教育委員になった時は地域に貢献したいという思いがありました。そこで、何か自分のできることはないかと思った時、2期目の最後のアンケートに住民対象の脳トレ教室をやりたいと書き、中央公民館、生涯学習課にその話を持ち込み、今年度、10月から月2回、「頭いきいき脳トレ教室」を行っています。毎回20人弱参加していただいています。自分が社会教育委員として何ができるか考え、企画して実施する、ひとつの例かと思えます。 お互いに社会教育委員として地域のためにいろんな形でもっと関わっていきたくらいなと今回の研修を通して改めて考えさせられました。</p>				

<p>清水委員</p>	<p>牧野先生の講演では社会教育というのはみんなであつて、みんなが楽しく暮らすための地下水脈であると捉えておられました。生涯学習については個別性であり、個人の を励ますためのものと捉えられております。</p> <p>事例発表では、</p> <p>①過去の社会教育というのは公民館において広がり、公民館においていろんな活動がなされていた。家庭内では、3世代そろって話合いの場があるということでした。今は無いのではないかと思います。</p> <p>②学力、詰め込み教育から個人にあった教育への変更、コミュニティースクールに継承がなされたということでした。</p> <p>③杉並区のビジョンについて 教育委員会の文章は分かりにくく、普段使わないような難しい文章で書かれているが杉並区のビジョンは中学生でも分かるような簡単言葉に直してあり、すばらしいと感じました。</p> <p>④学校内に地域ルームが設けてあり、地域の高齢者と子どもたちが交流できるようになっている。これを続けていくことによって子どもが変わり、地域住民が変わり、保護者が変わり、教師が変わってきたというような事例報告がありました。</p> <p>⑤富良野未来ラボというところで人材育成を一環で行っていくという事例で、小中高校を1回でつなげて話し合いを行うということでした。</p> <p>⑥島根県益田市の事例 小学生と高校生の語り場、中学生と地域の大人の語り場、高校生と企業の大人の語り場が行われている。目上の人と話し合いを行うことで生徒が変わってくるということでした。ここではUターン者が70%くらいあるとのことでした。また、富良野でもUターン者が多いとのことでした。</p> <p>④、⑤、⑥の共通点は話合いでした。話合いをしなければ何も始まらないということ。話合いというのは最も重要なことだと強調しておられました。</p> <p>鳥取県では南部町の教育委員会が先進地域であり、委員間の交流も盛んで社会教育の振興大会にはほぼ全員が出席しているようです。北栄町は会議で会う程度なので、交流の場を設けていただきたいと思いました。また、北栄町は振興大会に出席する人が決まっています。何が要因なのかは分かりませんが、手当や弁当代が一切出ないのも要因のひとつではないかと思えます。マイナス要因を取り除いていただきたいと思えます。</p>
<p>三村委員長</p>	<p>もう少し一人一人が親しくなって、活動につなげていけたらと思います。</p>
<p>福庭室長</p>	<p>牧野教授の講演の中で、3世代の方が囲炉裏を囲んで賑やかに話をしている絵がありました。また、戦後間もない頃の地域の公民館の中に、パン屋、床屋、俳句の教室、裁縫の教室など衣食住に関わる施設が公民館に位置づけられており、それが公民館の始まりだそうです。高齢の方が経験してきたものを次の世代へそしてまた次の世代へと伝えていくことが地域のつながりで大切なのではないかとということでした。</p> <p>0歳から亡くなるまで生涯学習として経験していき、それを次の世代につなげていくことが大切なのではないかとということでした。</p>
<p></p>	<p>(1)研修報告 北栄町実践発表「コロナに負けるな！ 新しい事業のカタチ」別冊</p>
<p>生涯学習課職員 宍戸・宮川</p>	<p>鳥取県社会教育振興大会兼社会教育委員研修会で北栄町が行った実践発表</p>
<p>三村委員長</p>	<p>できないと思って尻込みしてしまうが何かやってみようという思いが大切だと感じました。また、事務局の中で何でも話し合っ、親しい間柄になって前を向こうという気持ちになるのが一番の原動力ではないのかなと思います。</p> <p>やはり、雑談でもいいから集まって思いをぶつけ合う機会をつくった方が良いのかなと思いました。</p>
<p></p>	<p>(2)令和4年度の主な事業の中間報告・令和5年度事業に向けて</p>

<p>福庭室長</p>	<p>◆生涯学習課 文化・スポーツ推進室（資料P4～6）</p> <p>【事業報告】</p> <p>①コウノトリ足環装着 愛称募集し、「ほくちゃん」「あいちゃん」「すいかちゃん」に決定</p> <p>②みらい伝承館特別企画展「田熊常吉」 北栄町東園出身(株)タクマを創設</p> <p>③すいかながも健康マラソン特別大会 オンライン・バーチャルマラソン実施</p> <p>④六尾反射炉試掘調査 発掘調査継続中(水路跡の調査)来年度も継続して調査を行う</p> <p>⑤成人式～二十歳の集い～の開催(抗原検査対応) 成人年齢が20歳から18歳に変更になったが、名称を変更し、20歳で実施する。 現地開催予定</p> <p>⑥B&amp;G地域拠点化事業(第三の居場所等)の検討 ほくほくプラザ隣の駐車場を検討していたが、地質調査で水が出てきたため、建物を建てることは困難となり、原点に立ち返り見直すこととなった。</p> <p>【来年度事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度中止になった通学合宿はぜひ行いたいと思っている</li> <li>・すいかながも健康マラソンについては実行委員会で方向性を決定する予定。現地開催で計画を立てているところ。</li> <li>・B&amp;G海洋センターの駐車場拡張工事 現在測量設計を進めており、来年本格稼働していく予定</li> </ul>
<p>荒川事務局長</p>	<p>◆スポーツクラブ（資料P7～8）</p> <p>【事業報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月：自然体験セミナーin隠岐…中止</li> <li>・4月：北栄スポーツクラブジュニアクラブ活動開始式</li> </ul> <p>コロナで近年中止していたが今年度は北条改セ駐車場で2回に分けて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン教室 4月より開催、週1回6,7人参加</li> <li>・アクアビック教室 利用者より声があり、開催13名参加 プール温水化になり利用期間1か月延長</li> <li>・8月北栄BG塾 サマースクールと一緒にしよう計画していたが、サマースクールが中止になり一緒にはできなくなったため、サマースクールに参加予定だった中学生ボランティアに声をかけて開催。</li> <li>・北栄バレーボール大会 2会場、各会場で優勝を決めるという形をとり、開催(コロナ対策)</li> <li>・北栄バドミントン大会 参加人数に制限をかけて行う予定</li> <li>・元旦マラソン 開催予定だが、荒天の場合は室内だと密になるため中止で対応する予定</li> </ul>

<p>松尾室長</p>	<p>◆生涯学習課 人権推進室 (資料P9~10)</p> <p>【事業報告】</p> <p>①北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画の改訂 まちづくり審議会を開催し、改訂作業中 12月中旬、素案を町民にお知らせし、パブリックコメントを募集</p> <p>②3町連携TCC人権啓発番組の作成 人権を学ぶ会:コロナの関係で参加自治会が37/63と減少 人権週間(12月4日~10日)朝から夜まで放送予定</p> <p>③ネットモニタリング事業 部落差別解消推進条例に基づいてインターネット上の部落差別について監視し必要に応じて削除、6件の削除要請あり</p> <p>【来年度事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほくほくプラザの大規模改修(省エネルギー改修)</li> <li>暖房機器、LED化、今年度予算がつかなかったので来年度改めて予定</li> <li>・3町連携各種講演会等のアーカイブ配信</li> </ul> <p>講師の了承をとれば</p>
<p>渡辺館長</p>	<p>◆中央公民館 (資料P11~12)</p> <p>【事業報告】</p> <p>①ほくえい未来ラボによる分館建替えの検討 9月中間発表、12月最終発表予定</p> <p>②公民館講座の拡充(脳トレ教室、スマホ教室、健康マージャン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳トレ教室2回/月</li> <li>・スマホ教室 昨年度:ソフトバンクに依頼をし、年2回実施 今年度:鳥取中央育英高校の高校生ボランティア、年2回実施</li> <li>・健康マージャン 好評だった</li> </ul> <p>【来年度事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルデバйд対策(スマホ教室の拡充) 使える人と使えない人の格差解消 来年度はスマホ教室の回数と内容を見直そうとソフトバンクと協議を進めている</li> <li>・デジタルを活用した新しい公民館利用の提案(コワーキングスペース、貸出用PC) 中央公民館でも仕事をしている方がみられる、コンセント、USBのついたスペースをつくらうと考えている。 持っている人と持っていない人の格差解消のため、来館者用のパソコンの設置を考えている。</li> <li>・無料オンライン動画サービスを活用した生涯学習の推進 無料オンライン動画サービスを活用し紹介</li> <li>・分館建替えに係る設計着手 当初予算に間に合わないので6月補正を予定</li> </ul>
<p>永田理事長</p>	<p>◆中央公民館 大栄分館 (資料P13~15)</p> <p>【事業報告】</p> <p>今年度事業についてはコロナ対策をとりながら順調に実施中</p> <p>【来年度事業】</p> <p>来年度も同じような流れで事業を行っていく予定 居場所づくりの事業を増やしている、来年も同じような流れで実施予定</p>

田中館長	<p>◆図書館（資料P16～17）</p> <p>【事業報告】</p> <p>○図書館魅力化事業 「地域とつながる図書館づくり」 ・利用促進のための情報収集と各種イベント 6月アンケート実施、県内外に視察 ・ギャラリーゆらりの活用 展示、コワーキングスペース、フリースペースに活用 状況に合わせ、備品等揃えていく 「居心地のよい図書館づくり」 ・レイアウト変更・修繕・備品購入 11月キッズコーナーの開設 ヨル図書4回実施 読書の日、本の紹介をするコーナーを設置 個人の本のリサイクル等も検討している</p> <p>○絵本でつながるまちづくり事業 昨年度コロナで中止になった絵本作家ワークショップを今年度11月に実施57名参加</p> <p>【来年度事業】</p> <p>・図書館魅力化事業 今年度実施が難しいもの(準備が必要等)に関しては来年度実施していく予定 ・だれでも気軽に寄れる居場所づくり 2階に開放するスペースを確保し周知しているところ、備品等足りてないものは来年度揃えていく ・開館30周年記念事業 講演会を検討 ・通常業務を丁寧に見直していく 読書推進に係るものに力を入れていく 電子図書について、中部地区ではメリット、デメリット、予算面も含め、1町でするのか中部全体でするのか等、勉強会を行っているところ。</p>
委員長	ご意見、ご質問はありますか。
安田委員	通学合宿について 修学旅行、林間学校等あるが 필요한のか、また、ボランティアは足りているのか。
前田課長	家庭から離れ、自分たちで生活しながら、学校に通うということが狙いとなっている。自律性協調性を高め、普段、どれだけ親の力を借りて生活しているか実感したり、メディアから離れ生活するということも狙いとなっている。 ボランティアについては、社会教育委員、食推、婦人会、大学生等参加している。これからどういった方に関わっていただくか、地域で成長を見守っていることも子どもたちに感じてもらいたい。
坂田委員	スポーツクラブの駅伝大会のコースについて、以前の庁舎をつないだコースは沿道の応援もありよかったので来年からまた以前のコースにならないか。難しいのであれば、区間数を増やすのはどうだろうか。
荒川事務局長	各中継所が密になってしまうこともあり、コロナ対策で現在のコースに変更している。また、走っているところを見られて良いという意見もあり、駅伝部と相談しながら現在のコースに決めた。 区間数については、アンケートより付き添いの人もいるため、人員がたくさん必要という人で集められないという声があった。また、一人の距離数が現在2km弱なのであまり短すぎてもということから9区間を6区間に変更している。 意見があったことを駅伝部等に報告し、協議していきたいと思っている。
清水委員	健康マージャンについて、自治会で物品貸し出しはできないか。
渡辺館長	NPOピースから講師派遣と道具を借りて行っているの、自治会でされる場合は中央公民館が間に入りNPOピースにつなげるという形になる。
	(3)その他

福庭室長	北条中学校 大トーク大会について 参加検討いただきたい。 小学校の方も2月で検討中とのこと、こちらも検討いただけたらと思う。
三村委員長	コミュニティースクールの関係で関わっている。 ぜひ、参加して子ども達と意見を交わしてほしい。
6 その他	・人権フェスティバル 12月10日 ・ハイスクールフォーラム2022 12月18日 ・ほくえい未来らぼ 12月17日
11 閉会	
議長	以上で閉会
閉会時刻	午後3時12分
	上記のとおり相違ございません。
委員長	三村 勇雄
議事録署名委員	安田 千秋